

総務文教常任委員会代表質問



質問者
田村正幸

質問
文教施設の整備にあたって、他事業の見直しや縮小をしなければならぬと言っているが、「元気でたくましい町」「あたたかくやさしい町」をどのように作っていくのか。

町長答弁
非常に厳しい財政状況です。事業仕分けを行い、メリハリを利かせた予算付けをしていきます。合併をしない自立の町を歩んでいるわけですから、町民の皆さんからもご理解を頂いて町からの補助金や助けではなく、自分たちでしっかり経済活動をしていただける元

気でたくましい町にしていきたい。観光立町宣言をしている町ですから、多くの人に訪れていただきたい。観光産業に携わっている人が80%湯沢町にいる。観光と他の事業との連携を持っていたいただき、訪れた人にあたたかくやさしい町を感じていただける町にしたい。役場の中からはじめたい。

質問
地域防災組織の組織率を高める方策と組織活用の実態について

町長答弁
平成17年度から自主防災組織化に取り組んできた。本年度7町内で組織化され、

現在26町内で設置されている。組織化率は53.4%だが県・国の平均より低い。今後は、引き続き町内会長会議でお願いするとともに未組織の町内会に担当が向いて組織立ち上げの指導を行って行きたい。リゾートマンションについても検討していきたい。組織化されている町内会には災害時機能できるように指導していきたい。高齢者や、身体にしようがいのある方など災害時要援護者などの支援体制の構築と実践をお願いしたい。

質問
環境基本計画の策定手法について

町長答弁
環境審議会の委員構成は平成22年3月末日までに規則で決めて行きたい。関係課の職員からなる作業部会を新年度早々に立ち上げ、住民アンケートの作成と実施、基本計画案作成を行う。その後環境審議会に諮る。平成23年度末までに基本計画を作成していきたい。

22年度の予定としては4月に作業部会を立ち上げ、アンケートの実施、9月に結果の分析完了。11月末までに素案の作成、12月に素案の提示をする。環境審議会では9月までに委員の委嘱をし、12月に第1回審議会、1月第2回、3月に第3回審議会の開催の予定をしている。

質問
自主的な生涯学習の活動に対する支援策は

町長答弁
生涯学習指導者の育成と、人材バンクへの登録を促していきたい。担当役員職員の資質の向上のために、各種研修会等への積極的な参加により、適時に適切なアドバイスのできる職員育成を図っていく。情報提供の促進と体制整備を行う。現在行っている自主講座や、教室の関係団体間の連携や、情報提供などの側面からの支援を行うことで、自主運営の意識を助長し、総合型地域スポーツクラブ創設のための準備会と自主活動す

るための体制整備を行う。町民の積極的な公民館の活用で、生涯学習の拠点としての役割を担って行きたい。

質問
越後湯沢全国童画展の今後の展開と「館」の建設について

町長答弁
童画のまちづくり検討委員会にて現在検討されており、年度内に答申がされる。答申の内容を見て、町として検討していきたい。公約に掲げているので任期内にめどをつけたいが、場所、規模、建設費等についてはこれからの問題だ。

